

行きます・聞きます・提案します  
そして 伴走します

～商工会の支援事例～ 35

創業から事業化、そして自走化へ  
～創業者に寄り添った伴走支援～

支援先：ハイネファーム  
https://www.heine-farm.com



純国産無農薬の菌床から栽培した生キクラゲ

開について面談を重ねた結果、①ブランドディングによる認知度向上、②生産性向上、③高価格帯の販路開拓の三点に取り組みました。

ハイネファームは、IT企業に勤めていた代表の村広美さんが「きのこマイスター」の資格を取得後、令和三年四月にかほく市で創業したきのこ農園です。

純国産無農薬の菌床から夏はキクラゲ、冬はヒラタケを栽培しています。

支援は、代表から、創業資金の借入について相談を受けたことがきっかけではじまりました。

経営課題であるボトルネック工程の改善とブランドディングを後押し

事業を軌道に乗せていくため、代表と今後の事業展

認知度向上への取組では、かほく市特産品ブランド認証制度への申請、ふるさと納税返礼品の登録、商標登録を行った結果、行政からも応援していただけるようになりました。生産性向上への対応では、出荷量を安定させる取組が必要であると考え、小規模事業者持続化補助金を活用し、加工場を整備したところ、ボトルネックであった仕分け・梱包作業の処理能力が二倍となりました。

クラウドファンディングで目標金額の二倍を達成

販路開拓の取組では、試

作した「キクラゲ入りレトルトカレー」の開発費の調達とテストマーケティングを兼ね、クラウドファンディングサイト「Makrket」にチャレンジしました。その結果、目標金額の二倍を達成。その後、販売開始に向けてプレスリリースを行い、新聞にも掲載いただき、新たな販路を開拓することができました。

また、業務委託の受発注サイト「クラウドワークス」の活用により、ロゴ案の公募とアンケート調査を実施し、高付加価値を求める販路に向け、「品質の高さ」や「高級感」を訴求する新ロゴを作成しました。



今回開発したキクラゲ入りレトルトカレー

伴走から始まり、自走化を目指してのサポート

今回の支援においては、創業したビジネスが事業として成り立ち、創業者が自

走化していくことができることを支援者としての目標としました。そのため、経営課題とビジョンを共有し、創業者の経営資源に配慮した自走化につながるツール（クラウドファンディング・クラウドワークス・プレスリリース）を活用して支援に取り組みました。

創業時の経験と人脈を活かし、新たな取組に着手

代表は、創業してからの経験を活かし、すでに新たなプロジェクトにチャレンジしています。

その一つとして化粧品会社、金沢美大生と連携して自然のうるおいを閉じ込めたオールインワンジェルを開発しました。

この商品は、希少な国産の白いキクラゲから抽出される保湿性の高いアラゲキクラゲ子実体エキスを主成分とし、その他にもこだわりの美容成分を使用しています。白いキクラゲは、黒いきくらげが一万分の一の確率で突然変異した「奇跡

のキクラゲ」と呼ばれています。

開発にはクラウドファンディングを活用し、プレスリリースも自ら実施されました。



キクラゲ生体水を主成分としたオールインワンジェル「AUROL」



栽培が非常に難しい「白いキクラゲ」

担当経営指導員から一言  
● 今後も、創業者や事業者が思い描く「将来のあるべき姿」を実現するため、自走り出していくことができるように、一緒に悩み、考え、何か一つでも活用できる施策やツールをお伝えしていきたいと思えます。  
● かほく市商工会 経営指導員 今西 真

ハイネファーム

〒九二九-一〇五  
かほく市横山レ四〇一三  
☎〇七〇-八四三三二九五八

この事例は、令和五年度石川県商工会優秀支援事例の優秀賞を受賞しました。